



2014 年 1 月 31 日

報道関係者各位

**J E M A I 環境ラベル
(エコリーフ/カーボンフットプリント) の第二弾発表、
エコリーフの温室効果ガス排出量を C F P に登録可能**

一般社団法人産業環境管理協会 (J E M A I) は、第三者認証・定量型環境ラベル (以下、 J E M A I 環境ラベルという。) の一体化の第 2 弾として、多環境影響領域を算定している「エコリーフ (注 1) 環境ラベルプログラム」 (以下、「エコリーフ」という。) の温室効果ガス排出量を「カーボンフットプリント (注 2) コミュニケーションプログラム」 (以下、「 C F P 」という。) として登録することができるように運用改善し 1 月 3 1 日から受け付けを開始致します。

(1) 背景

わが国では、第三者認証・定量型環境ラベルにおいて多環境影響領域を算定していますエコリーフと温室効果ガス排出量のみを算定しています C F P の 2 つがあります。各々温室効果ガス排出量を登録・公開していますが、算定ルール等が異なっており、エコリーフを登録・公開しています事業者が、 C F P の認定取得しようとすると余計な手間や負担がかかり、 C F P に参加することが難しく、 C F P の普及拡大の一障壁となっています。

そのため、両プログラムが統合化するまでの暫定措置として、エコリーフの温室効果ガス排出量を C F P として登録・公開することを技術的・使用上の問題がないことを確認し登録・公開することを可能とする運用を開始致します。

(2) エコリーフによる算定結果 C F P での登録・公開

エコリーフで算定した結果のうち、温室効果ガス排出量については、 C F P の数値として登録・公開をすることができるように 1 月 3 1 日から受け付けを開始致します。これにより、 J E M A I 環境ラベルへの参加のコスト低減と利用拡大が図れます。

本件に関する問い合わせ先については、以下のとおりです。

<本件に関するお問合せ先>

一般社団法人産業環境管理協会 L C A 事業推進センター

担当 : 壁谷 (かべや)、平野

E-Mail ecodesign@jemai.or.jp TEL 03-5209-7712

<用語解説>

注1 エコリーフ:

製品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至る全段階における複数の環境影響領域(温室効果ガス排出量や資源消費量など)を定量的に「見える化」(表示)する仕組みです。

注2 カーボンフットプリント:

製品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至る全段階における温室効果ガスの排出量をCO₂に換算して、「見える化」(表示)する仕組みです。